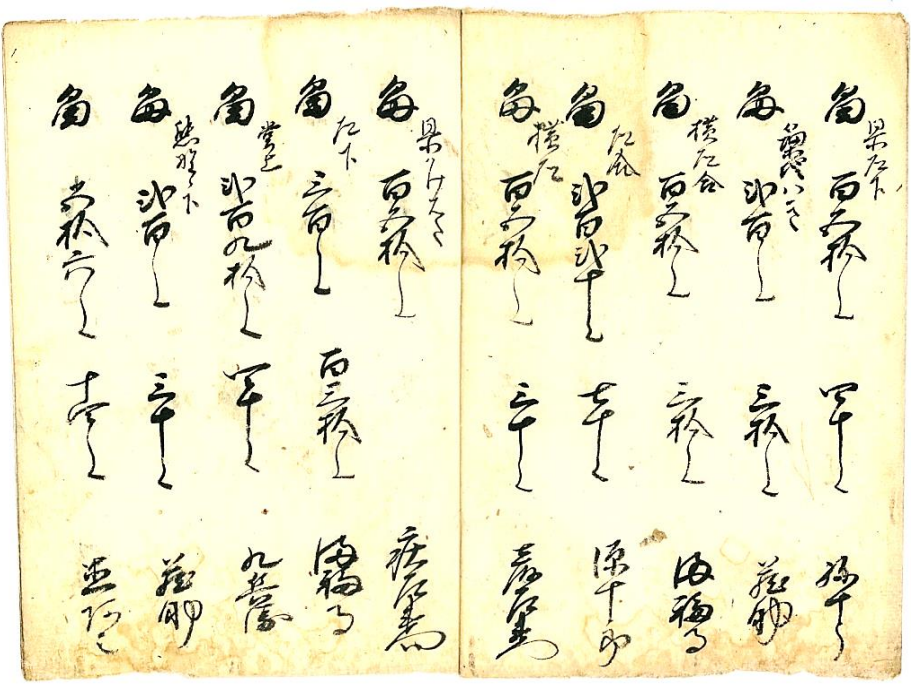
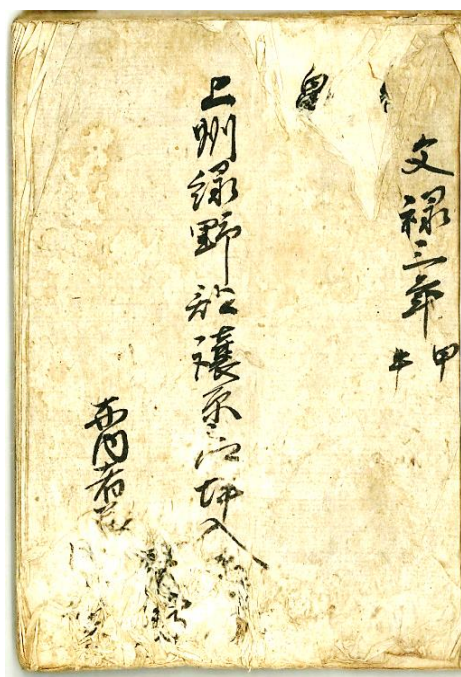


26 上州緑野郡讓原郷坪入 []

文禄3年 (1594年) 3月16日

緑野郡讓原郷(現藤岡市讓原)で実施された検地に伴い作成された坪入帳(検地帳)です。家康の関東入国後、最初に統一的に実施された検地が代官頭の大久保石見守長安いわみのかみながやすによる文禄検地ぶんろくでした。この検地帳は、江戸時代の一般的な検地帳に見られる土地の等級・面積(反別)の記載がなく、土地の種類(畑)・場所(地名)・永高(貫文)えいだか・名請人なうけにん(年貢負担の義務を負う人)のみが記載されています。

山田松雄家文書 P8217 No.274



【26】 上州緑野郡讓原郷坪入「」
(P8217 山田松雄家文書 No.274)

(表紙)

文禄三年
申甲
上州緑野郡讓原郷坪入「」
案内者「」
「」

(前略)

同所道下	畠 百五拾文	四十文	弥十郎
	築地八き		
	畠 貳百文	三拾文	蔵助
横道合	畠 百五拾文	三拾文	満福寺
道合	畠 貳百貳拾文	七十文	源十郎
畠	百五拾文	三十文	彦左衛門
同所かけはた			
畠	百五拾文		荘左衛門尉
道下	畠 三百文	百三拾文	満福寺
堂上	畠 貳百九拾文	四十文	九兵衛
熊野下	畠 貳百文	三十文	蔵助
畠	五拾六文	十四文	直阿三

(後略)